

演習科目概要

薬学研究科医療薬学専攻(博士課程) 特別演習科目	
授業科目名	講義の内容
医療分子薬学特別演習	<p>天然薬物作用学、生体機能化学、環境衛生学、免疫細胞情報学、分子薬効解析学から構成される医療分子薬学分野では、分野内の各種の高度・専門的知識の修得に努めるとともに、最先端研究に関する学術論文や総説の抄読会を行い、最新の専門知識を修得する。また、各学生の薬学特別研究で得られた成果の概要については、医療分子薬学特別演習で研究進捗状況の発表・討論を主として英語を用いて行うとともに、研究の意義や新規性および関連研究の中での位置づけなどに主眼をおいて発表し、医療分子薬学の多角的かつ幅広い視点からの質疑討論を実施する。さらに、それぞれの専門領域の講演会や学術集会にも積極的に参加し、最新の研究動向を把握するとともに、各学生の今後の研究推進と展開についても概要を述べ、今後の研究の推進に結びつくように討議する。</p> <p>なお、国際性と創造性を兼ね備えた大学院生の育成の一つとして特別演習では英語原著論文と英語を用いた質疑応答を中心としたレポート作成を特別演習の柱として進める。</p> <p>【担当教員】 井上 誠 教授、田邊宏樹 講師、横沢英良 教授、武田良文 准教授、佐藤雅彦 教授、藤原泰之 准教授、中西 守 教授、古野忠秀 准教授、伊納義和 講師、村木克彦 教授、波多野紀行 講師</p>
医療機能薬学特別演習	<p>病原微生物学、化学療法学、医療薬剤学、神経薬理学、疾患病態治療学を基礎とする医療機能薬学の最先端の研究についての学術論文や総説を紹介する。また、先端的な医学・薬学の成果に触れるための講演会・学術集会への参加・発表・内容報告を行う。さらに、医療現場の臨床医やパラメディカル分野の臨床研究者との情報交換を積極的に行う能力を養う研究会へ参加する。特別研究で得られた成果について、意義および関連研究の中での位置づけ・研究の方向付けをおこないながら発表演習をする。発表は本特別演習を履修する大学院生と医療機能薬学分野内の研究指導教員・研究指導補助教員および関連教員の出席のもと資料を作成した上で口頭発表し、多角的かつ広い視野からの質疑討論することを主眼とする。</p> <p>なお、国際性と創造性を兼ね備えた大学院生の育成の一つとして特別演習では、「医療分子薬学特別演習」と同様に英語原著論文と英語を用いた質疑応答を中心としたレポート作成を特別演習の柱として進めるが、臨床に密接に関連した事項に関しては、英語の使用にこだわらず、日本語での理解・修得の徹底に努める。</p> <p>【担当教員】 河村好章 教授、森田雄二 講師、田中基裕 教授、小幡 徹 講師、山村恵子 教授、山本浩充 准教授、浦野公彦 講師、櫛 彰 教授、大井義明 講師、杉山成司 教授、脇屋義文 教授、梅村雅之 講師、上井優一 講師、巽 康彰 講師</p>